

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

CLASS1

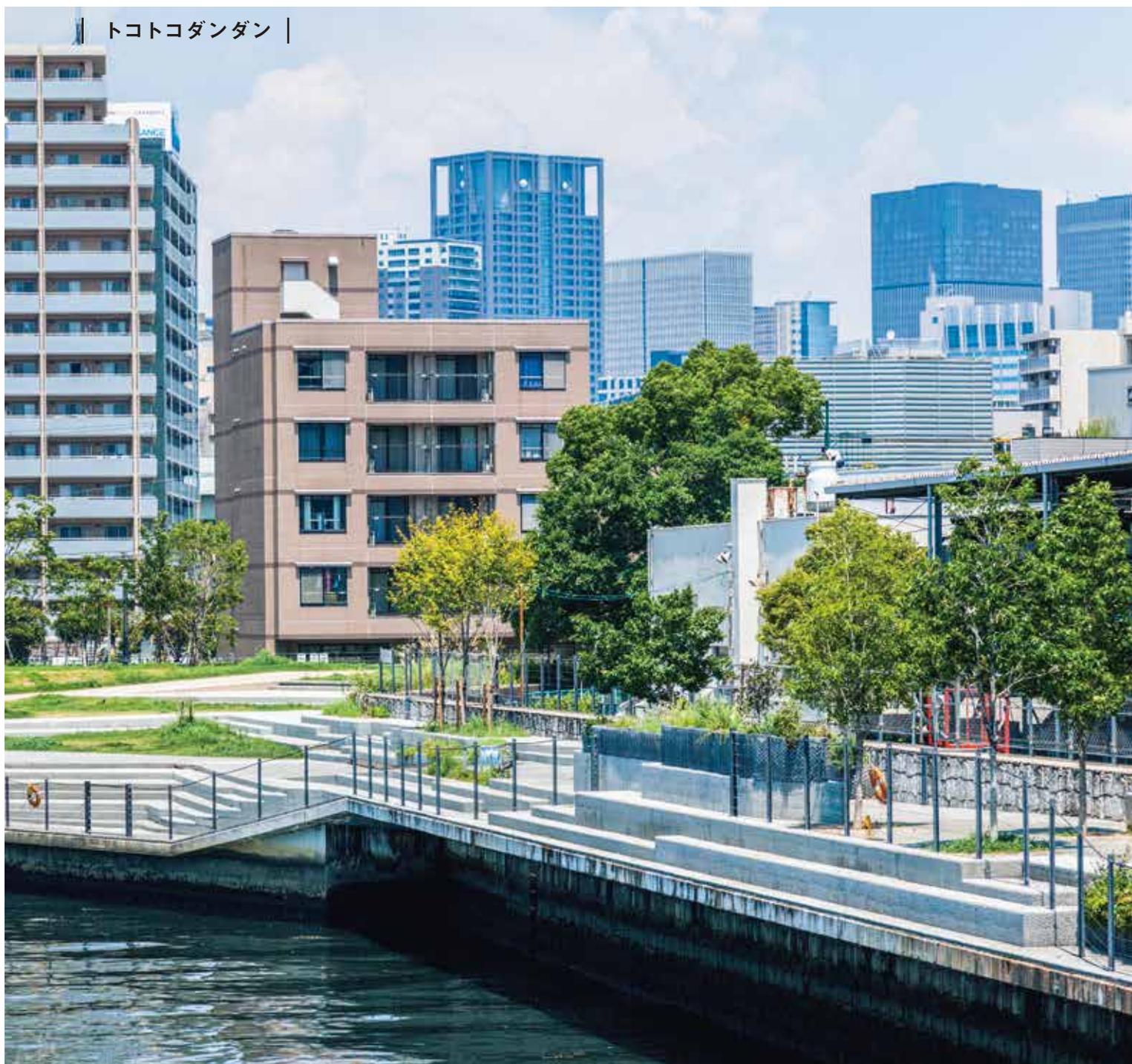
ARCHITECT

2022
VOL. 25

建築家 岩瀬諒子

水辺と街の境界をほどく建材とは。

トコトコダンダン |



浴室でも、サビない鏡

普通ミラー

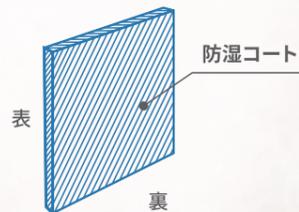
防湿ミラーHG



防湿ミラーHG

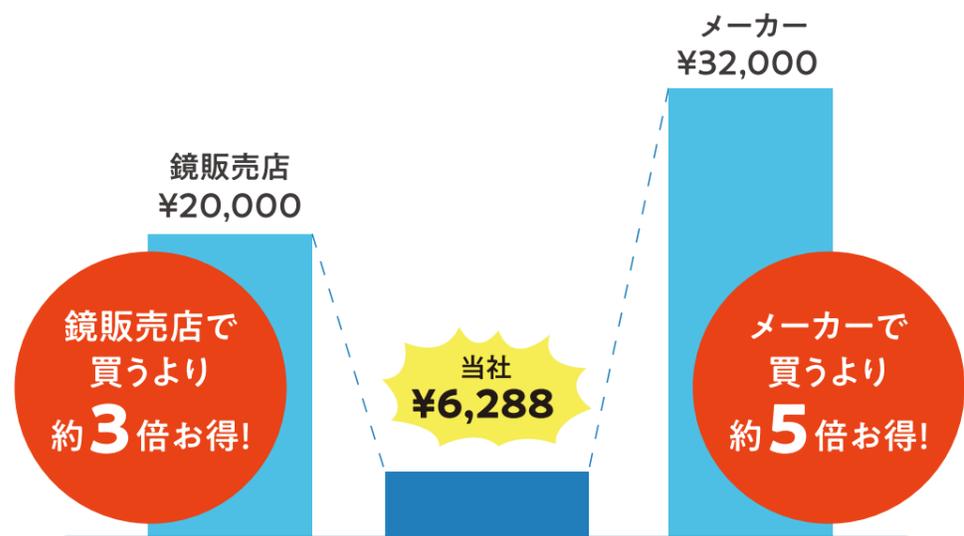
10年以上交換不要

鏡の側面と裏面を
しっかりコーティング!



国内生産 即日発送 簡単交換

工場直送だから
どこよりも
安くお届け



安心して購入できる
3つの保証

ご自身で割っても!
最大保証 **100%**

サイズを間違えても!
最大保証 **100%**

運送中破損しても!
最大保証 **100%**

鏡の販売.com

0120-12-5509

担当: 藤澤 副担当: 中村

販売元: OOKABE GLASS株式会社

営業日: 09:00~18:00 月曜~土曜日(祝日除く)

MAIL: shop@ookabe-glass.com

F A X: 0776-54-4566 詳しくはこちら▶



冷暖房の
効きが悪い

光を遮らず、
窓の目隠しをしたい

結露が
気になる

外の音が
気になる



窓の相談窓口 コールセンター
オペレーター 中村

窓の相談窓口 WINDOWS

くらしの問題を、「窓」で解決

窓相オススメ
商品・サービス

短時間で高断熱の窓リフォーム!

RAKUE



「断熱・遮熱性能」「耐久性」「短時間で手軽な取付」を実現した樹脂窓。樹脂サッシと複層ガラスで最高クラスの断熱性を備えることはもちろん、樹脂サッシに替える際に不安な「耐久性」や「汚れやすさ」の問題を、特殊なフレームで克服。

窓がプロジェクター用スクリーンに!

ZIProll スクリーンタイプ



特許取得のスクリーンファスナーシステムを採用したロールスクリーン。外部からの光を遮断して室内を完全な暗闇にすることができ、会議室をプレゼンルームに、リビングをシアタールームとして使える。お家時間の長い今の時期におすすめの商品。

他にもたくさんのおすすめ商品を取り揃えております。詳しくはサイトをご覧ください。

窓の相談窓口 WINDOWS
mado-soudan.jp

販売元: OOKABE GLASS
0120-50-4577
担当: 藤澤 副担当: 小林

営業日: 09:00~18:00 月曜~土曜日(祝日除く)
MAIL: shop@ookabe-glass.com
F A X: 0776-54-4566

詳しくは
こちらから▶



CONTENTS

水辺と街の境界をほどく
建材とは。

建築家 岩瀬 諒子

06 トコトコダンダン

- ・太平洋プレコン工業株式会社
「インターロッキングブロック」
- ・東京製網株式会社 「転落防止ロープ」
- ・株式会社佐藤渡辺 「ポーラスコンクリート」

15 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、
建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！

著名建築家が
選りすぐりの建材を
アクティブに紹介する
建材特集マガジン

主役は建材。

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

CLASS1
ARCHITECT

2022
VOL. 25



T H I S
I S S U E ' S
C L A S S 1
A R C H I T E C T

岩瀬 諒子

RYOKO IWASE

建築家

- 1984 新潟県生まれ
- 2007 京都大学工学部卒業
- 2010 同大学工学研究科修士
- 2008-2009 EM2N Architects(スイス/チューリッヒ)勤務
- 2011-2012 隈研吾建築都市設計事務所勤務
- 2013- 岩瀬諒子設計事務所代表
- 2012-2014 慶応義塾大学助手
- 2014-2019 東京藝術大学教育研究助手
- 2020- 京都大学工学部助教

●主な受賞歴

- 2013 旭硝子株式会社主催実施コンペ
「U30ガラス建築の設計競技」最優秀賞(KUSANAMI)
- 2018 グッドデザイン金賞/経済産業大臣賞(トコトコダンダン)
- 2018 日本造園学会賞 作品部門(トコトコダンダン)
- 2019 ベストデビュタント賞(トコトコダンダン)
- 2019 東京藝術大学美術エメラルド賞

●主な作品

- 2013 KUSANAMI
- 2014 ドボクのへや
- 2017 トコトコダンダン
- 2021 第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展
日本館展示「ふるまいの連鎖:エレメントの軌跡」

建築家を志したきっかけは？

小さい頃から自分の部屋に手を入れるのが好きで、棚を赤く塗ったり、テレビをピンクに塗ったりしていました。その様子を見ていた建築の音響専門家であり一級建築士でもある父から「インテリアだけでなく建築の道もある」と勧められたのがきっかけです。防音対策における断熱材や床材について父に相談することもあります。

ターニングポイントになった建築は？

独立して最初に手掛けた「トコトコダンダン」です。コンペから竣工までの約5年間、そして竣工後も観察を続けています。予想外の使われ方に出会うとワクワクしますし、ある時は土木の現場で特注品の採用が難しいという状況を観察し紐解いていくと維持管理の問題があり、竣工後に維持管理ガイドブックが策定されたこともありました。少子化や税収減で公共施設などの維持管理が難しくなっていきますが、こうした状況に対しても「維持していく」という考え方自体を見直し、創造的に場所を改変したりお手入れをすることができるデザインについて最近をよく考えています。

学生に伝えたいことは？

私は今でこそ「建築+土木+ランドスケープ」の間を歩き来しながら独立して設計をしていますが、学生の当時は土木デザインに関心のある人が建築学科にあまりおらず悶々としていました。今では社会の潮目も変わり、自分なりの設計の考え方を実践した先に楽しさや共感を得られている実感がありますが、仮に周りの理解が得られなくても、自身の興味、違和感、問題意識等に真摯に向き合い、楽しむことを忘れずにそれぞれの方法で建築や都市に関わり続けることは大事だなと思っています。



水辺と街の境界をほどく 建材とは。

2017年3月、大阪府の護岸整備事業として木津川沿いに完成した「トコトコダダン」は、河川の氾濫から街を守る堤防であると同時に、広場と遊歩道を擁する住民の憩いの場でもある。このプロジェクトでは住民との関わりが当初から意図され、行政の土木事業としては異例の、参加資格を問わないデザインコンペによって岩瀬氏を選ばれた。岩瀬氏の提案の中心は、水際に向かって段々畑のようにゆるやかに降下していく構造物だ。水はけの良いポーラスコンクリートや、安全性と透明感を兼ね備えた柵を用い、住民が好きな場所で水辺を楽しみつつろげる「居場所としての堤防」を実現した。

地盤改良から始まった工事の中盤で、既存図面になかったカミソリ堤防が地面から姿を現したのだという。その堤防は8mという根入れの深さから撤去ができず計画の変更を強いられたという岩瀬氏。しかし、このカミソリ堤防が人々を守り続けたからこそ、水辺と街の関係を再構成する今回の試みが発見されているのだと感謝をもって受け止めた。かつての堤防は、現在もメイン入口に象徴的に佇んでいる。『「トコトコダダン」の親水護岸は日々の水位変化が体感としてわかるほか、ゴミが流れ着く時もあります。その様子を否定的に語る方もいますが、“実際はあるのに、ないように見せる”考え方に

は限界があると感じます。私たちを取り巻く環境のことを少しでも考えたり、知るきっかけになってほしいという思いがありました」と岩瀬氏は語った。

子どもたちが笑顔でリズムカルに歩く響きをイメージして名付けられた「トコトコダダン」。完成後も地域と行政が連携して維持管理に努め、楽器の練習やヨガなど思い思いに過ごす人々の姿も見られるようになった。官と民、土木と建築、防災施設と居場所。境界をほどいたことで街に新たな景色がもたらされ、水とともに生きる場が育まれている。



DATA

所在地／大阪府大阪市
設計／岩瀬諒子設計事務所
施工／日宝建設工業株式会社ほか

住民の声が開発の出発点

「トコトコダンダン」に用いられているインターロッキングブロックは、岩瀬氏が太平洋プレコン工業株式会社と共同開発したものだ。当初はポーラスコンクリートで舗装予定だったが、舗装前の地面を目にした住民の「この土のまま仕上げられないか」という声に共感した岩瀬氏。土らしさを残しながらも、車の轍が残ることや透水性などの問題をクリアした新しいブロックの開発へと舵を切った。型枠を一から製作し、現場の真砂土を配合した土で長方形と正方形のブロックを成形。2種類のブロックを斜めに組み込むように配置するパターンを開発した。このパターンは見る距離に応じて印象が変化するのも特徴的。近くで見ると砂の柔らかなテクスチャーや角の丸いブロックが愛らしさを感じさせ、遠くから見るとニットのようなパターンが適度な表情を残す。このブロックは、プロジェクト終了後「プレアピ」の名で製品化された。

プレアピの特徴

01

温もりのある意匠

ブロックの角を丸く成形することで、インターロッキング舗装にありがちな無骨さを払拭。素材の土の風合いと相まって、緑によく合う温かみのあるイメージを演出。

02

複数の色と仕上げ

配合する土を変え、アースカラーと相性の良い色バリエーションを複数展開。透水・非透水を指定できるほか、仕上げは打ち放しとショットブラストの2種から選べる。

03

ニット状のパターン

長方形と正方形の2種類のブロックを編むように組み合わせたニットのようなパターン。岩瀬氏のデザインコンセプトに沿い、1種片方みの販売は行っていない。



岩瀬さん、なぜこの建材を採用したのですか？



あらゆるスケールで魅力を感じてほしい

土のような素材で舗装できて透水性のある製品は、既製品では見つかりませんでした。園路などでよく使用される土系舗装は、本来割れるはずのない土が経年変化で割れてしまうため、初めから綺麗に割れているインターロッキングブロックに真砂土を入れてもらいました。昨今はバリアフリーの観点からブロックの端部をシームレスにするのが主流ですが、室内床のような表情になってしまわないよう「トコトコダンダン」ではバリアフリー基準のギリギリまで面取りしました。ブロックに近づくと丸みのあるやわらかな感じや真砂土の表情が見えます。大きいスケールを扱う時の素材や肌理（きめ）について修士課程で研究していた背景が、このような表現につながっていると思います。



製品開発のもとになった舗装前の地面

建材開発秘話

メーカーさんへ聞いた

地元の土を最大限に生かす配合

波多野佐弥子さん

「施工現場で発生した真砂土を使用し、地元ゆかりのある製品にしたい」という岩瀬さんの要望を具現化しました。真砂土の色合いや粒径を最大限生かした配合を決定するまで、何度も試作を繰り返した思い出深い開発でした。のちに「プレアピ」を開発する際は「トコトコダンダン」のものではない土でテクスチャーを再現する点に苦労しましたが、日頃より比較的少量から特注製品の対応を行ってきた実績と経験を活かし、製品化に成功しました。（西日本限定、指定の土での製造は要相談）

プレアピの詳細はこちら



太平洋プレコン工業株式会社

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-16
フジタ東洋紡ビル(大阪支店)
TEL 06-6344-6212
FAX 06-6344-9280
URL www.t-pc.co.jp/

視界を妨げない透明感

「トコトコダンダン」には、水辺に面した約240mもの長い遊歩道がある。「土木の基準に沿った転落防止の役目を果たしながらも、視界を損ねず透明感のある柵をつくりたい」。そう考えた岩瀬氏は、東京製綱株式会社とともに転落防止ロープを開発した。柵のトップビームに採用したのは吊り橋に使用される金属製ストランドロープ。端部支柱に張力をかけ、構造的には100mのスパンを飛ばしている。たわみ止めや角度調整のための中間支柱には、最小断面寸法の細いフラットバーを採用することで柵の圧迫感をなくした。また、トップビームがロープであることにより「トコトコダンダン」の階段状の地面に対して美しく線を通すことを可能にしている。全ての柵が水際に均一に並ぶのではなく、蛇行するように配置されているのもユニークな点だ。この柵の配置により、人々が遊歩道を歩きながら水との距離感の変化を感じられる効果を生み出している。

東京製綱株式会社の特徴

01

ケーブルの総合企業

髪の毛より細い極細ワイヤから直径100mm超のワイヤロープまで扱うケーブルの総合企業。その用途はクレーンやロープウェー、エレベーターなど多岐に渡る。

02

パイオニア精神

ロックコイルロープの開発(1939年)から世界最高速エレベーター用ロープの開発(2004年)まで、前例のないワイヤロープの開発に挑戦し、革新的な製品を世に送り出す。

03

シェア日本一

ワイヤロープはエレベーター、建設機械、水産業、鉄鋼業を中心に約40%を占め、スチールタイヤコードでは独立系メーカーの中でトップシェアを誇る。



岩瀬さん、なぜこの建材を採用したのですか？



身体感覚に訴えかける感触

現代の水辺には転落防止用の柵が必要なため、水との物理的な距離というより柵の仕様や配置が水辺との距離感を決めていると言っても過言ではありません。今回採用した東京製綱さんのロープは鋼製でありながら、麻ロープのようなやわらかな見た目。握って水を覗き込みたくなるような、身体感覚に訴えかけてくるところが気に入りました。「トコトコダンダン」では暗めのグレーに塗装し存在感を消すような使い方をしましたが、以前別のプロジェクトで採用した際はロープに天板を載せて脚のないテーブルを製作しました。私たちの事務所では土木的手法で建築や家具をつくったり、建築的な考え方で土木をつくったりと分野を横断し、そのフィードバックを楽しみながら設計をしています。



建材開発秘話

メーカーさんへ聞いた

東京製綱株式会社のホームページはこちら



東京製綱だけができる塗装

堀辰嘉さん
今回の柵に採用されているのは、上段～下段がステンレス、最上段が変性飽和ポリエステル樹脂塗装を施したロープです。変性飽和ポリエステル樹脂塗装は非常に耐久性に優れており、通常は塗装が困難と言われるワイヤロープにコーティングができるのは当社のみ。現在「タフコーティッド」という名前で製品展開を行っています。強度とデザイン性を両立する設計に大変苦労しましたが、岩瀬さんがこだわりを持って案件に向かっている姿を見て、何とかお応えしたい一心で仕上げることができました。



東京製綱株式会社

〒103-8306 東京都中央区日本橋3-6-2
(日本橋フロント)
TEL 03-6366-7777
FAX 03-3278-6800
URL www.tokyorope.co.jp/

雨上がりもカラリと座りやすい

「トコトコダン」を象徴する階段状の構造物は、ある場所ではスロープであり、またある場所は階段であり、座面であり、壁でもある。こうした異なる形状や用途を持つパーツを全て同じ素材で構築することで、各パーツの意味をあえて曖昧にし、人々が感覚に任せて好きなように過ごすことができる場となった。これを実現しているのが、株式会社佐藤渡辺のポーラスコンクリートだ。平面はもちろん立面を形づくる際にも崩れ落ちないほど硬く、内部に空隙があるため高い透水性を発揮。雨が降った後でもすぐに乾き、座りやすい。ポーラスコンクリートは一般的には平面の舗装に用いられる素材だが、同社の特殊な締め固め技術により、壁の成型や間接照明周りの複雑な施工が可能となった。日光の照り返しをやわらげるため、純白ではなくセメント色を活かし、顔料なしで薄いグレーに仕上げている。

株式会社佐藤渡辺のポーラスコンクリートの特徴

01

水はけの良さ

透水性に優れ、雨水を舗装内に一時貯留し、地中に浸透させると共に蒸発散させる。雨後の水溜まりを防ぎ、集中豪雨・ゲリラ豪雨等による大量の雨水の滞留も緩和。

02

熱くなりにくい

空隙に含まれた水分が気化する際に舗装の表面温度が下がるため熱くなりにくい。雨水を地中に浸透させるため、地中の生態系や樹木の発育への悪影響が少ない。

03

幅広い用途に使える

遊歩道、外構エントランス、車路、駐車場など舗装材として幅広く使用でき、1m程度の高さであれば立面施工も可能。骨材に自然石を用いたグレーの高い舗装も。



岩瀬さん、なぜこの建材を採用したのですか？



平面・立面を同素材でつくるために

コンベ当初から、平面も立面も全て同じ素材を使うことを意識していました。しかしこれがかなり難しかったです。例えばレンガなら実現できますが、手づくりの素材からしみ出る繊細さが土木的な荒っぽさとはイメージが異なるように感じました。困っていたところ、佐藤渡辺の支店長から「1mくらいなら壁をつくれるかもしれない」と言われ「やっと見つけた!」という気持ちでした。ポーラスコンクリートは、コンクリート打ち放しの表面と比べてクラックが入っても悪目立ちしにくい。また、ポーラスの空間は生物の住処にもなります。経年したポーラスコンクリートの現場をいくつも見るうちにコケが生えている場所に出会い、経年変化の豊かさにも惹かれて採用しました。



建材開発秘話

メーカーさんへ聞いた

創作した特殊な機械で締め固め

一般のコンクリートで階段を構築する場合、型枠を組んでコンクリートを流し込み、締め固め機械の高周波バイブレータ等で流動化させて均一にします。しかし、流動性が無いポーラスコンクリートを同様の手順で施工すると見た目の悪い層状の模様ができてしまうことが問題でした。そこで、今回のためだけに創作したアタッチメントを付けた特殊な締め固め機械を使用することで、模様が出ない施工を実現しました。立壁部の施工は、肌分かれが起きないようにアンカーピンを設置しました。

ポーラスコンクリートの詳細はこちら



株式会社佐藤渡辺

〒106-8567 東京都港区南麻布1-18-4
TEL 03-3453-7350 FAX 03-5476-0695
MAIL info-eigy@watanabesato.co.jp
URL www.watanabesato.co.jp/

カタログ送付可
 サンプル提供可
 見積作成可
 試作可

※条件による

Which TYPE?

建築士のみなさまが所属する
団体・協会・組合はどのタイプ？

イベント型



セミナーなどのイベントを開催し、会員に参加してもらっているが、名刺交換程度の繋がりがしか生まれていない。

放置型



会員の交流は自己責任。どんな事業をしているのかも知らない。所属するだけの繋がりがしか生まれていない。

ルーティンワーク型



総会・例会の実施や会報誌の製作など、トップダウンの仕事ルーティンにこなすだけで、会員の主体性がない。



Link.DXで攻めの繋がりに！
ソリューション型の組織に！！

会員のデータを集積して、事務局が操作的に繋がりを作り、新しいコトに発展させていく。



会員同士の繋がりを 攻めの繋がりへと ブレイクスルーさせる。



団体・協会・組合では、さまざまな人と繋がるができます。しかし、新しいコトが生まれず繋がりは守りの状態です。それを攻めの繋がりに変化させるために必要なのは、会員が抱えるビジネスでの挑戦や問題をオープンにすること。

Link DXは、アプリ内で挑戦や問題をコンテンツとして申請し、事務局が承認・発信し、会員同士を繋げることができます。そこから新しいコトに発展させ、成功・失敗を問わず結果を出す。成功も失敗も次のステージへのプロセスとして可視化し、共有し、弾み車を回し、会員のビットレートを上げていく。こんな状態が理想的な攻めの繋がりはです。

Link DXは、守りの繋がりを攻めの繋がりへとブレイクスルーさせていく事務局アプリです。

詳しくはサイトをチェック

<https://linkdx.jp>



CLASS1
ARCHITECT

Q & A



岩瀬諒子を選ぶ

4つの建材

あの建築家はどんな価値観を持って、どんな建材を使っているのだろうか？

そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”

建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。



Q1 土木らしさとデザイン性が融合した建材とは？

A メッシュ



小岩金網株式会社

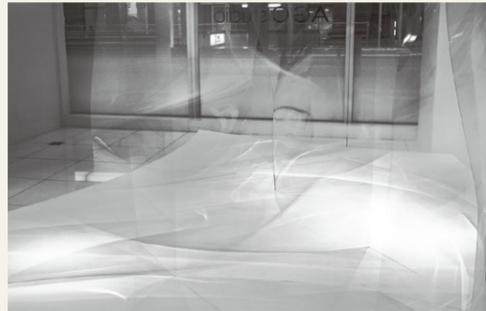
〒111-0035 東京都台東区西浅草3-20-14
TEL 03-5828-8878 FAX 03-5828-7615
MAIL t.abe@koiwa.co.jp (担当:阿部)
URL www.koiwa.co.jp/

街並みの中に溶け込む フェンスのようなプランター

「トコトコダンダン」の各所にプランターを設ける際、土木的なたたまいとなるようにメッシュ製プランターを考案しました。菱形金網に丸棒を溶接し強度を高めた構造体で、フェンスがそのままプランターになったようなデザインです。中に入っているグレーの不織布は吸い出し防止剤。通常は法面（盛り土などで人工につくられた斜面）の保護などに使われる、水を透過させ土は透過させない土木資材です。土木も建築もランドスケープも一つの街並みのなかにあるものなので、使う建材も分け隔てなく考えることで街がもっと良くなるのではないかと考えています。

Q3 空間が引き立つ建材とは？

A レオフレックス



AGC株式会社

〒100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1
TEL 03-3218-5741
FAX 03-3218-7006
URL www.agc.com/

曲げてねじる薄型ガラスは ガラスと光と影を一体化する

AGCさんと建築家支援NPOの共催による若手建築家を対象としたコンペ「U30ガラス建築の設計競技」に参加した際に使用しました。レオフレックスは一般的なガラスよりも厚みが薄い薄板ガラス。大きな寸法で使うと下敷きのように曲げられます。その特徴を利用してガラスにアールをつけ、上部をねじって留めることで「ガラスと光と影が三位一体になる空間」をつくりました。風が吹くと少し揺れるので、ガラスでありながらもまるで草原のように見えます。コンペでは最優秀賞をいただき、東京や大阪をはじめ、ドイツやAGCのベルギー本社でも展示していただきました。

※レオフレックスは現在販売終了

Q2 思い出深い建材とは？

A プリーツメッシュ



株式会社 NBCメッシュテック

〒191-0053 東京都日野市豊田2-50-3
TEL 042-582-2411 FAX 042-583-8060
MAIL kawahake.eiji@nisshin.com (担当:川端下)
URL www.nbc-jp.com/

📄 カタログ 送付可 📄 サンプル 提供可 📄 見積 作成可 📄 試作可

光と風を感じさせ 建材とファブリックの間を表現

「ヴェネチア・ビエンナーレ日本館」の展示で使用しました。戦後から増改築を繰り返してきた世田谷の一軒家を解体してヴェネチアに運び、再構築しています。解体途中で失われたエメラルドグリーンのもルタルを、プリーツ加工したメッシュで置き換えました。緑色のアクリルなどで構造を補強することも考えましたが、場所を変えて違う生命を吹き込みたい思いがあり、住宅だった時とは異なる挙動をするものとして選択。風にそよぎつつも透け過ぎず、光を当てれば美しい影が生まれます。厚みもあり、建材とファブリックの間のような見え方を実現できました。

Q4 新しいアイデアが生んだ建材とは？

A スツールベンチ



株式会社ユニオン

〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江2-13-22
TEL 06-6532-3188 FAX 06-6533-3747
MAIL info@artunion.co.jp
URL www.artunion.co.jp/

📄 カタログ 送付可 📄 見積 作成可

車止め用のボラードに 別の役割を与えたアイデア

ある道路のプロジェクトでメーカーさんとスツールベンチを開発しました。車道と歩道の区切りをつけるためのボラードを置く必要があったのですが、かなりの本数が設置されるため「それなら、このボラードがテーブルやベンチなどのインフラの役割を担えないか？」と考えたのが開発のきっかけです。普段はボラードですが、上部にすべてネジが切っており、テーブルの天板やゴムチップ製の座面などが設置できるようになっています。こうした構造物の存在によって道路空間の活用が広がるのではないかと考えていて、今後は製品化も予定しています。

あなたが手掛けた建築を

CLASS1 ARCHITECTで無料掲載

建築事例 募集中

アプリ・WEB・プッシュ通知で建築事例を紹介し
貴社ホームページやSNSに集客できます

投稿方法

ページ右下にあるQRコードを読み込んで投稿フォームを開く



掲載したい事例を選び貴社ホームページやSNSのURLを設定



2022.6月掲載開始予定



会員数 **14,000** 人突破

建築士・施主向けアプリ



応募はこちらから



注意事項

- ・アプリへの会員登録が必要です。
- ・掲載可否や掲載時期につきましては、CLASS1 ARCHITECT 編集部に一任くださいますようお願いいたします。

vol.25 読者PRESENT



右のQRコードよりアンケートにご協力いただいた皆さまには、弊社の関連会社であるOOKABE GLASSのガラス・鏡販売サイトに利用できる10%OFFクーポンをプレゼントいたします。更に、ガラス販売サイト内の「OOKABE GLASS会員」にご登録いただくと、無料でデザインガラスのサンプルアソートBOX (通常税込10,780円) をプレゼント!



SPECIAL THANKS

- Architect
岩瀬 諒子様
- Manufacturer
太平洋プレコン工業株式会社
東京製網株式会社
株式会社佐藤渡辺
小岩金網株式会社
株式会社 NBCメッシュテック
AGC株式会社
株式会社ユニオン
- Architecture
トコトコダンダン
- Photo
金川晋吾様 (表紙/P5/P6-7上/P12-13上)
岩瀬諒子設計事務所 (P6-7下/P8-9/P11下/P16上/P17下)
鉄構技術 (P10下)
Erieta Attali様 (P10-11上/P12-13下/P17上)
Alberto Strada様 (P16下)
- CREDIT
発行 OOKABE Creations株式会社
発行人 大壁勝洋
ディレクション 岩崎祐輔
編集 嶋田明莉
文 森田マイコ・坪井千晶
デザイン・DTP 山本実紗・勝木遥菜・伊藤周平・三枝清美 (株式会社ウララコミュニケーションズ)

【編集後記】
岩瀬さんが「トコトコダンダン」で「土木っぽさ」を大事にした理由は、大らかさのある場にしたいからなのだと思います。「隅から隅まで仕上げがされ、一糸乱れぬ様子で構えているような場所では、人は自由になりきれないと思いました。土木資材は、ある種荒いところもある。その荒さをうまく利用することで、人をより大らかに迎え入れる場にしたいからです」。その言葉から、建築と土木を一体で考える岩瀬さんの信念が垣間見えました。

●掲載されている情報はすべて発刊当時のものです。各メーカー様へのお問い合わせの際には「CLASS1 ARCHITECTを見た」とお伝えください。サンプル送付・試作等の対応については有料の場合がございますので、お問い合わせ時にご確認ください。



プロポーザル情報・建築士の求人情報・建材の比較記事など、建築士の方に役立つ情報を配信しています。無料会員登録がまだお済みでない方は、右のQRコードからぜひご登録をお願いいたします。



本誌は建築建材デジタルプロモーション協会(DPA)が運営しています。本誌への広告掲載についてはDPAにお問い合わせください。
<https://architecture-dpa.com/>





あなたの家に、
オフィスに合う鏡、
必ず見つかります。

あらゆる鏡を、あらゆるサイズで、1枚からオーダー可能

190種以上、
実績枚数
174万枚突破

インターネット最大級の鏡の販売専門サイト

鏡の販売.com



<https://www.e-kagami.com/>

法人様からのご相談も最短1日以内で回答します。